

新庁舎建設整備検討会を開催

11月9日、新庁舎建設整備検討会が開催されました。この検討会は、新庁舎の建設整備について、基本方針、規模・機能などを検討するものです。

検討会の委員は、町内会長、各種団体の長や、一般公募の市民ら18人で構成され、会長に県立広島大学保健福祉学部の間野博教授が選ばれました。

市は、新庁舎建設についての考え方、規模や事業費、合併特例債を活用し、国の財政支援のある平成26年度までに建設することが将来の負担を軽くすることにつながることなどを説明しました。

委員からは、新庁舎の必要性や安全性・防災性に関する質問や、「市民の皆さんに十分な説明を」などの意見が出されました。

市民5,000人を対象に新庁舎の機能や役割などについて市民意向調査を実施し、その調査結果を参考に、検討会を重ねながら、平成21年3月までに新庁舎のあり方について、検討していきます。



まちづくりの視点から、市民に親しまれる新庁舎のあり方、施設設などについて検討します



英語で伝える私の思い 中学生英語スピーチコンテスト

11月10日、本郷生涯学習センターで、第4回三原市中学生英語スピーチコンテストが開催されました。参加した中学生61人は、保護者や学校関係者などを前に、元気よく英語を披露しました。1年生は教科書などを題材に、2・3年生は夢や家族、友達などをテーマに発表し、会場から大きな拍手が送られました。入賞者は次のとおりです。(敬称略)

1年生

最優秀賞 高橋絵里(如水館中学校)
教育長賞 田代万桜、吉本早織(如水館中学校)
優秀賞 御畑友貴(鷺浦中学校)

2年生

最優秀賞 井手上千春(如水館中学校)
最優秀賞 鈴木美乃理(如水館中学校)
優秀賞 清水拳人(第一中学校)

3年生

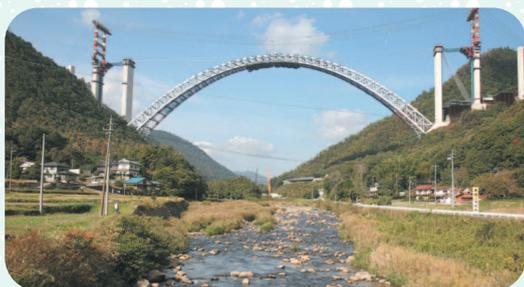
最優秀賞 福濱愛子(幸崎中学校)
教育長賞 宮川優希(幸崎中学校)
優秀賞 奥野陽平(鷺浦中学校)

沼田川溪谷に架かる空港大橋

10月31日、平成9年10月に工事着工した県道広島中央フライトロードの起点側に位置する空港大橋のアーチ部が結合しました。

沼田川溪谷をまたぐ空港大橋は、両端に鉄塔を設置し、そこから張ったワイヤーで支えながらアーチを延ばしていく工法で工事が進められ、完成すれば高さ190m、水平距離380mで、大阪府の木津川新橋(水平距離300.5m)を抜き日本一、世界でも9番目のアーチ橋となります。

フライトロードの全体延長は、約30km。現在は、広島空港から大和町を結ぶ10km(空港大橋を含む)の整備を進めており、平成22年度の開通を目指しています。



日本一のアーチが結合しました



身ぶりや手ぶりを交えながら英語でスピーチしました